

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	岡山理科大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	オカヤマリカダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	中国・四国地方
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	インターンシップ
	学部・研究科等名	理学部、工学部、総合情報学部、生物地球学部
	担当教職員名・役職	寺田盛紀 教授他5名
	受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	81
	受入企業等数	43
	受入企業等名	神鋼機器工業株式会社、株式会社フジワラテクノアート、興南設計株式会社、株式会社大東精機、MHPSエンジニアリング株式会社、西川ゴム工業株式会社、富士ベークライト株式会社、株式会社システムタイズ、カジン株式会社、協同組合岡山県土質試験センター、株式会社BtoBホールディングス、株式会社サタケ、IKOMAロボテック株式会社、シバセ工業株式会社、株式会社マルナカ、株式会社プレヒまわり、公益財団法人岡山県環境保全事業団、ユニ・チャームプロダクツ株式会社、県立総合大学校本部、株式会社エス・エス・シー、倉敷地所株式会社、株式会社SNK、佐藤建設工業株式会社、有限会社アグリ元気岡山、株式会社エプリーホーミーホールディングス、内海造船株式会社、株式会社宝計機製作所、岡山市役所、倉敷市役所、神姫バス株式会社、株式会社アンテック、株式会社メディアハウスホールディングス、オカネツ工業株式会社、石川工業株式会社、Nippon Trends Food Service Inc.、その他
	インターンシップの分類	1.長期(概ね1か月以上)インターンシップ 3.海外インターンシップ 5.他県をまたぐ広域インターンシップ 9.中小企業でのインターンシップ 10.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容(記述欄)	
要素②	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ先企業の経営者による経営戦略の説明、製造現場作業、製品作成体験、製品出荷体験等
	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	1.当該インターンシップは、教養教育科目として実施している 2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している 5.当該インターンシップは、選択必修科目として実施している 7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	2年次～3年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	2単位
2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	事前指導として、自己分析、業界研究、マナーについて講義し、主に夏季休業中に企業・団体等に就業体験を行う。事後指導として、他の学生前で体験報告後、個別にコメント及び指導し、評価を行い単位を与える。	
3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい	
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容(記述欄)	

要素③	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	インターンシップ中に、教職員が企業等に赴き、担当者と業務内容について情報交換をおこなっている。
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	業界・企業研究、ビジネスマナー研修また学内に企業を招きインターンシップマッチングを実施している。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ終了後、自らの経験をまとめプレゼンテーション資料を作成し報告会で発表する。また、事後アンケートを行い自らの体験を自覚させる。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ中に、教職員が企業等に赴き、担当者と業務内容について情報交換をおこなっている。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	汎用的能力と職業観及び満足度を織り交ぜたアンケート尺度を開発し実施している。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している 2.事前・事後学習との組み合わせにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	6日間、7日間、8日間以上
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	事前指導30時間、事後指導30時間インターンシップ実施期間4日以上
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	一か月程度の長期インターンシップ経験者及び海外での長期の経験者が数名いる。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	実習日誌を作成し、担当者に提出終了後実習評価書をいただいている。また、インターンシップ報告会に担当者を招きフィードバックをしていただいている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	<a href="https://portal.pub.ous.ac.jp/SyllabusGaku/Syllabus.asp?mode=6&amp;cdsl=FB20I040&amp;nendo=2017">https://portal.pub.ous.ac.jp/SyllabusGaku/Syllabus.asp?mode=6&amp;cdsl=FB20I040&amp;nendo=2017</a>
問い合わせ先	大学等名	岡山理科大学
	担当部署名	キャリア支援センター
	担当者役職名	センター長
	担当者氏名	河野敏行
	電話番号	086-256-8435
	メールアドレス	syusyoku@office.ous.ac.jp